重要保管　本紙では、お買い求めいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ

◎型名・型番について

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は LL750/SG をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記の通り読み替えてご覧ください。

	マニュアル等での表記	本 製 品
型　名	LL750/SG	LL750/SG1KS
型　番	PC-LL750SG	PC-LL750SG1KS

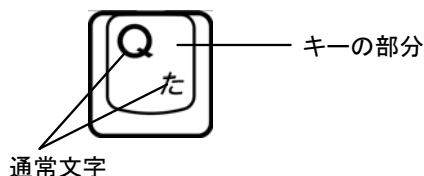
◎仕様一覧ついて

添付のマニュアル『準備と設定』－付録－「仕様一覧」の項目は、次のように読み替えてご覧ください。

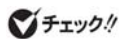
	マニュアルでの記載	本 製 品
インテル® ターボ・メモリー	ー	4GB

◎キーボードについて

本製品では、標準モデルのキーボードから下記のように配色を変更しています(キーボードの配列に変更はありません)。

		標準モデル	本 製 品
キーキャップ(キートップ)色	キーの部分	白	黒
	通常文字	黒	白

◎インテル® ターボ・メモリーについて

本製品は、Windows Vista の ReadyDrive 機能に対応しています。ReadyBoost 機能には対応しておりません。
ReadyDrive 機能は、Windows Vista の起動ファイルを、比較的読み書きが高速なフラッシュメモリに記憶し、起動時にフラッシュメモリから読み出すことで Windows Vista の起動時間を短縮する機能です。
また、インテル® ターボ・メモリーを利用してアプリケーションの起動を高速化することができます。起動を高速化するアプリケーションの設定は Intel® Turbo Memory Dashboard で行います。
このパソコンには、インテル® ターボ・メモリーおよびハードディスクに関するユーティリティとして「Intel® Turbo Memory コンソール」、「Intel® Turbo Memory Dashboard」および「Intel® Matrix Storage Console」がインストールされています。

853-810924-285-A
810924285A

チェック!!
・工場出荷時の状態では、ReadyDrive機能は有効に設定されています。
・Intel® Turbo Memory コンソールを削除すると、インテル® ターボ・メモリーの機能が使用できなくなります。誤って Intel® Turbo Memory コンソールを削除してしまった場合は、「Intel® Turbo Memory コンソールの再インストール」をご覧になり、再インストールしてください。
・インテル® ターボ・メモリーの交換については、ご購入元または NEC にご相談ください。また、インテル® ターボ・メモリーを交換した場合は、「Intel® Turbo Memory コンソールの再インストール」をご覧になり、Intel® Turbo Memory コンソールを再インストールしてください。
・初回起動後ハードディスクを交換した場合は、インテル® ターボ・メモリーが正常に動作しない場合がありますので、「Intel® Turbo Memory コンソールの再インストール」をご覧になり、Intel® Turbo Memory コンソールを再インストールしてください。

■Intel® Turbo Memory コンソールについて

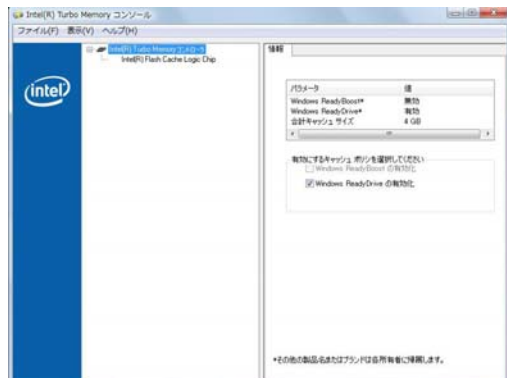
Intel® Turbo Memory コンソールは、インテル® ターボ・メモリーの状態確認や、ReadyDrive機能を有効または無効に設定するソフトです。

チェック!!
・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
・Intel® Turbo Memory コンソールを使用する場合は、管理者(Administrator)権限を持ったユーザーでおこなってください。
・本機は、ReadyBoost 機能には対応しておりません。

●インテル® ターボ・メモリーの状態確認

インテル® ターボ・メモリーの状態確認は次の手順でおこないます。

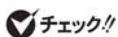
1 「スタート」−「すべてのプログラム」−「Intel® Turbo Memory」−「Intel®Turbo Memory コンソール」をクリックする

「Intel(R) Turbo Memory コンソール」画面が表示されます。

2 「情報」の表示で確認する

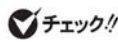
「情報」には次の情報が表示されます。

・ReadyBoost機能の有効／無効
本製品は ReadyBoost 機能には対応していないため、「無効」と表示されます。

・ReadyDrive機能の有効／無効
現在の、ReadyDrive機能の有効／無効の状態を通知します。

・合計キャッシュサイズ
インテル® ターボ・メモリーが使用しているNAND フラッシュメモリの合計キャッシュサイズを通知します。

チェック!!
・Windows起動後、インテル® ターボ・メモリーの状態がIntel® Turbo Memory コンソールに反映されるまで、時間がかかる場合があります。その場合は、Intel® Turbo Memory コンソールの「表示」メニューから「更新」をクリックして、表示を更新してください。
・インテル® ターボ・メモリーの状態が「保留」となっている場合、ReadyDrive機能をサポート可能かどうか、Windows Vistaが確認中です。

●インテル® ターボ・メモリーの設定の変更

インテル® ターボ・メモリーでWindow VistaのReadyDrive機能を利用するかどうかの設定は、次の手順でおこないます。

チェック!! ・ご購入時の状態では、ReadyDrive機能は有効に設定されています。
・ReadyDrive機能を無効にすると、システムのパフォーマンスが低下する場合があります。なるべく有効のまま使用してください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel® Turbo Memory」-「Intel®Turbo Memory コンソール」をクリックする
「Intel(R) Turbo Memory コンソール」画面が表示されます。

2 「有効にするキャッシュ ポリシーを選択してください」欄で設定をおこなう
「Windows ReadyDrive を有効にする」にチェックを付けるとReadyDrive機能が有効に、チェックを外すとReadyDrive機能が無効になります。

3 再起動を促すメッセージが表示されたら、画面の指示に従って再起動する

●Intel® Turbo Memory コンソールの再インストール

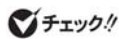
Intel® Turbo Memory コンソールを誤って削除してしまった場合や、インテル® ターボ・メモリーを交換した場合は、次の手順で、Intel® Turbo Memory コンソールを再インストールしてください。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「アクセサリ」-「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「名前」欄に「C:¥DRV¥TurboMemory¥Setup.exe」と入力し、「OK」をクリックする
以降の操作は、画面の指示に従ってください。

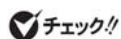
3 インストールが完了したら、パソコンを再起動する

■Intel® Turbo Memory Dashboard について

Intel® Turbo Memory Dashboard は、インテル® ターボ・メモリーを使用したアプリケーションの高速化についての設定を行うユーティリティです。
プロファイルへのアプリケーションやカスタム セットの登録、プロファイルの管理、カスタム セットの設定などを行えます。

チェック!! ・Intel® Turbo Memory Dashboardを使用する場合は、管理者(Administrator)権限を持ったユーザーで行ってください。
・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

●Intel® Turbo Memory Dashboardを起動する

Intel® Turbo Memory Dashboard を起動するには、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

チェック!!
・Intel® Turbo Memory Dashboard を使用するためには最低 1 つ、プロファイルが作成されている必要があります。
工場出荷時の状態や再セットアップ後など、プロファイルが 1 つも作成されていない状態で Intel® Turbo Memory Dashboard を起動した場合、プロファイル名を入力する画面が表示されますので、作成するプロファイル名を入力して「次へ」ボタンを押してください。
・1 つのプロファイルに登録しているアプリケーションの数が多くなると、Intel® Turbo Memory Dashboard の起動に時間がかかるようになる場合があります。
その場合には、「プロファイルの設定と管理」をご覧になり、複数のプロファイルを作成して、アプリケーションを分けて登録するようにしてください。

●プロファイルの設定と管理

プロファイルとは、高速化するアプリケーションやカスタム セットを登録しておく設定です。
プロファイルごとにアプリケーションやカスタム セットを登録できるので、用途にあわせてプロファイルを作成、設定しておけば、プロファイルを切り替えるだけで高速化するアプリケーションやカスタム セットを変更することができます。

◆使用するプロファイルの選択

作成済みのプロファイルから使用するプロファイルを選択する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウ右上の、▼をクリック

3 表示された一覧から、使用するプロファイル名をクリック

◆起動を高速化するアプリケーションまたはカスタム セットの登録

作成済みのプロファイルに、起動を高速化するアプリケーションまたはカスタム セットを登録する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウ右上の、▼をクリック

3 表示された一覧から、アプリケーションを登録するプロファイル名をクリック

4 アプリケーションを登録する場合は「アプリケーション」タブを、カスタム セットを登録する場合は「カスタム セット」タブをクリック

5 「アプリケーション」タブ、または「カスタム セット」タブの一覧から、登録するアプリケーションまたはカスタム セットを、「高速」欄にドラッグアンドドロップ

メモ
・アプリケーション名やカスタム セット名の下にある「詳細」ボタンをクリックすると、高速化する際に読み込まれるファイルの一覧が表示され、ファイルごとに読み込むかどうかを設定できます。
・アプリケーションやカスタム セットの登録を解除する場合は、「高速」欄から「アプリケーション」タブまたは「カスタム セット」タブの一覧にドラッグアンドドロップしてください。
カスタム セットについては「カスタム セットの設定と管理」を参照してください。

◆プロファイルの作成

新規にプロファイルを作成する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウ右上の、▼をクリック

3 表示された一覧から、「新規プロファイルの作成」をクリック
「新規プロファイルの作成」ウィンドウが表示されます。

4 プロファイル名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

◆プロファイルの管理
プロファイルのコピーや削除などの管理は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウ右上の、▼をクリック

3 表示された一覧から、「プロファイルの管理」をクリック
「プロファイルの管理」ウィンドウが表示されます。

4 「プロファイルの管理」ウィンドウでプロファイルに関する操作を行う

操作	手順
プロファイルのコピー	1.コピーしたいプロファイルを右クリック 2.表示されたメニューから、「プロファイルのコピー」をクリック 「コピー – コピー元のプロファイル名」という名前で、プロファイルのコピーが作成されます。 コピーしたプロファイルの名前を変更するには、「プロファイル名の変更」の操作を行ってください。
プロファイル名の変更	※現在使用中のプロファイルの名前は変更できません。 1.名前を変更したいプロファイルを右クリック 2.表示されたメニューから、「プロファイル名の変更」をクリック 3.新しいプロファイル名を入力し、「完了」ボタンをクリック
プロファイルを外部ファイルに保存する	1.保存したいプロファイルの「エクスポート」ボタンをクリック 「フォルダの参照」ウィンドウが表示されます。 2.ファイルを保存する場所を指定し、「OK」ボタンをクリック 指定した場所に「プロファイル名.xml」のファイル名でファイルが作成されます。 外部ファイルに保存したプロファイルは、「外部ファイルからプロファイルを追加する」の手順で一覧に追加できます。
外部ファイルからプロファイルを追加する	1.「プロファイルの管理」ウィンドウの「プロファイルのインポート....」ボタンをクリック 2.追加するプロファイルを保存した外部ファイルを指定し、「開く」ボタンをクリック すでに一覧にあるプロファイル名と同じ名前のプロファイルを追加した場合、「コピー – コピーのプロファイル名」という名前で追加されます。
プロファイルの削除	※現在使用中のプロファイルの削除はできません。 1.削除したいプロファイルの「削除」ボタンをクリック 確認のウィンドウが表示されます。 2.「はい」ボタンをクリック

5 「完了」ボタンをクリック

●カスタム セットの設定と管理
カスタム セットとは、インテル® ターボ・メモリーで高速化する際に読み込むファイルを、ユーザーが任意に登録しておける設定です。
「アプリケーション」タブの一覧にないアプリケーションを高速化したい場合や、ユーザーが高速化したいファイルを任意に設定したい場合は、カスタム セットを使用します。
作成したカスタム セットは、「カスタム セット」タブの一覧に登録され、「アプリケーション」タブの一覧に登録されているアプリケーションと同様に使用できます。

◆カスタム　セットの作成
新規にカスタム　セットを作成する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「カスタム　セット」タブをクリック

3 「カスタム　セットの作成」をクリック

4 作成する設定名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
「カスタム　セット」タブの一覧に、入力した名前でカスタム　セットが登録されます。

◆カスタム　セットにファイルを登録する
作成したカスタム　セットにファイルを登録する場合は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「カスタム　セット」タブをクリック

3 設定を行うカスタム　セットの「詳細」ボタンをクリック

4 「参照...」ボタンをクリック

5 登録するファイルを指定して「開く」ボタンをクリック
複数のファイルを登録する場合は、手順 4～5 を繰り返してください。
一覧に登録したファイルを解除する場合は、ファイル名を右クリックして「ファイルの削除」を選択してください。

6 「完了」ボタンをクリック

◆カスタム　セットの管理
カスタム　セットのコピーや削除などの管理は、次の手順で行います。

1 「スタート」→「すべてのプログラム」→「Intel® Turbo Memory」→「Intel® Turbo Memory Dashboard」をクリック
「Intel(R) Turbo Memory」ウィンドウが表示されます。

2 「カスタム　セット」タブをクリック

3 一覧から、操作を行うカスタム　セットを右クリック

4 表示されたメニューから、実行したい操作を選択する

・カスタム　セット名の変更
表示されたメニューから「このセット名の変更」をクリックします。
カスタム　セット名を入力するウィンドウが表示されるので、新しい名前を入力し、「完了」ボタンをクリックしてください。

・カスタム　セットの削除
表示されたメニューから「カスタム　セットの削除」をクリックします。
確認のメッセージが表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

・カスタム　セットのコピー
表示されたメニューから「このセットのコピー」をクリックします。
「コピー － コピー元のカスタム　セット名」という名前で、カスタム　セットのコピーが作成されます。

■「Intel® Matrix Storage Console」について

「Intel® Matrix Storage Console」で、ハードディスクの状態を確認できます。
「Intel® Matrix Storage Console」を使用する場合は、管理者(Administrator)権限を持ったユーザーでおこなってください。

チェック!! ・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

●ハードディスクの状態確認

ハードディスクの状態の確認は次の手順でおこないます。

1 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Intel® Matrix Storage Manager」-「Intel® Matrix Storage Console」をクリックする
「Intel(R) Matrix Storage Console」画面が表示されます。

2 「表示」メニューから「詳細」モードを選択する

3 左側の表示エリアの「ハードドライブ」配下に表示されるドライブから、状態を確認するハードディスクをクリックする

4 「情報」の表示でハードディスクの状態を確認する

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※1(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

※1:社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付のマニュアル『準備と設定』の仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下の WEB サイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

パソコンに電源を入れるときのご注意

●初めてパソコンに電源を入れる(初回起動)ときのご注意

※表紙はお使いのパソコンによって多少異なることがあります。

初めてパソコンの電源を入れるときは、必ず添付のマニュアル**『準備と設定』**をご覧ください。

セットアップ前に『準備と設定』に記載されている機器以外を接続したり、セットアップ中に電源を切ったり、不適切なユーザー名を入力してしまうなどして、記載通りにセットアップしないと、正常にセットアップが完了しないだけでなく、故障につながることがあります。必ず参照するようにしてください。

セットアップ完了後、『準備と設定』の「第 4 章　基本中の基本の操作」の「もしもの時に備えて」に記載されている事項などをよくご覧の上、安全にパソコンをご利用ください。

●通常の起動時のご注意

電源を入れたり、再起動した直後は、デスクトップ画面が表示された後も、**CD/ハードディスクアクセスランプが点滅しなくなるまで何もせずお待ちください**※2。起動には 2 分～5 分程度かかります。

※2：CD/ハードディスクアクセスランプが点滅している間は Windows が起動中です。無理に電源を切ったり、アプリケーションを起動したりすると、動作が不安定になったり、処理が重複して予期せぬエラーが発生することがあります。

電源を切る場合は、添付のマニュアル『準備と設定』をご覧の上、「スタート」メニューから電源を切ってください。

再セットアップについて

パソコンをご購入時の状態に戻す方法として「ハードディスクから再セットアップする方法」と「再セットアップディスクから再セットアップする方法」があります。

「ハードディスクから再セットアップする方法」の方が、時間も短く、簡単な操作で再セットアップできますが、ハードディスク自体が破損してしまったときには利用できません。もしもの場合に備えて、ご購入後なるべく早く**再セットアップディスクを作成**し、「再セットアップディスクによる再セットアップ」が利用できるようにしておくことをお勧めします。なお再セットアップディスクは販売もしています。

再セットアップの方法や再セットアップディスクの作成、購入先については添付のマニュアル**『パソコンのトラブルを解決する本』**の再セットアップに関する項目をご覧ください。

●再セットアップおよび再セットアップディスク作成時の注意

- 別売の周辺機器(メモリーカード、プリンタ、スキャナなど)をすべて取り外してマニュアル『準備と設定』の「電源を入れる前に接続しよう」で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。

USB/IEEE1394/PC カードスロット/メモリースロットにハードディスクなどを接続したままやメディアをセットしたまま再セットアップをおこなうと、ハードディスクやメディアのデータが削除されることがあります。また、再セットアップが途中で止まってしまうことがあります。再セットアップが途中で止まってしまった場合は、接続されている機器がないか、メディアがセットされていないか再度確認し、それらがあった場合は、機器を取り外したり、メディアを取り出してください(再セットアップが続行されます)。

- LAN ケーブルがつながっている場合は取り外してください。ワイヤレス LAN がある場合はオフにしてください。